

初志貫徹

令和5年度 朝礼 (3/4) 校長の話

おはようございます。

先日は調布市役所の青木さん、ユーチューバーのオクンをお招きして漫才講座を開きました。ユーモアのある会話をして、明るい人間関係をつくろうというテーマのもと、楽しい時間を過ごすことができました。中でも代表で漫才をしてくれた8人の皆さんには、プロ顔負けの芸を披露してもらい、八中に笑顔を届けてくれました。本当にありがとう。

なお、もう知っている人もいると思いますが、この漫才の取組は読売新聞と朝日新聞に記事となりました。特に朝日新聞は東京都全域のトップ記事として扱われましたので、注目度がとても高かったです。そして、これからケーブルテレビでも放映されます。3月9日から1週間、11時と17時の2回、ニュースで放映されます。また、スマホでも、「ど・ろーかる」というアプリで見ることができますので、ぜひご覧ください。

さて、今日の四字熟語を紹介します。今日は「初志貫徹」という言葉です。最初に立てた目標を最後まで貫き通すという意味です。

5月に「有言実行」という言葉を紹介したことを覚えているでしょうか。やりたいことがあれば言葉に表現してみようというお話をしました。皆さんの新年度の目標として、例えば次のようなものがありました。「自習ノートをつくる」「提出物を必ず出す」「話していない人と話す」一年を振り返って、どうでしょう。達成できたでしょうか。

達成できたものは、どうか自分の自信につなげてください。まさに「初志貫徹」できた満足感を十分に味わってください。そして、達成できなかったという人は、落ち込む必要はありません。むしろ達成できないことのほうが多いはずですよ。

空を飛ぶ飛行機で、目的地まで予定されたルートで進んでいるものは何機くらいあると思いますか。実はゼロ機です。全ての飛行機は、ルートを外れて飛行しています。なのに、目的地に着けるのはなぜかという、補助翼で絶えず軌道修正しているからだそうです。補助翼というのは、翼の後ろ側につける部分で、ここが上下することによって向きを変えたりします。空の上の過酷な自然環境のなか、絶えず補助翼を動かして修正することで、最終的なゴールに行きつくことができるのです。つまり大事なことは軌道修正する力ということになります。「初志貫徹」の横にはいつも「軌道修正力」があるものと覚えておきましょう。これがないと全然知らない土地に着陸することになります。

少し曲がったなと思ったら、正しいルートに戻したり、全然違う回り道をするルートであっても思い切って軌道修正したら、案外良い結果になったりすることも、人生にはよくあることです。

ゴールがはるか先にあったとしても、軌道修正する力さえもっていれば、いずれゴールに行きつくことができるでしょう。今はゴールじゃないかもしれないけど、粘り強くあきらめなければ、いつかは「初志貫徹」の日が来ます。

皆さんにはぜひ、大きな志を立ててほしいと思います。人生をかけるのにふさわしい大きな目標で

す。それは、地平線の向こう側にある、遠い目標かもしれません。しかし、目指そうとする気持ちああって、さらに軌道修正する作業を繰り返すなら、きっといつかは叶うときがきます。3年生は4月からの新生活、1、2年生は八中生として過ごす来年からの生活、それぞれ新しい出発に向けて、今日の話思い出してほしいと思います。

今日の話は以上です。